

# 沖縄のページ



世界日報ホームページ  
http://www.worldtimes.co.jp



「パンドラの箱掲載拒否訴訟報告会」で裁判について解説する徳永一弁護士(右)、原告の上原正徳氏(中央)と証人尋問に立った星雅彦氏(左)も参加した。17日、沖縄県青年会館(那覇市)

琉球新報社からの原稿依頼で、上原氏が執筆した「パンドラの箱」の連載は2007年5月26日から琉球新報夕刊で始まり、第1話が終わった。第2話の「慶良間で何が起きたのか」の原稿を新聞社に渡したところ、2話掲載予定の前日(同年6月18日)、一方的に掲載拒否を通達された。

## 「パンドラの箱」訴訟で証人尋問

ドキュメンタリー作家の上原正徳氏が琉球新報社に対して掲載拒否を求め、訴訟を提起した。約1千万円の損害賠償を求めた訴訟の証人尋問が17日、那覇地裁で行われた。ドキュメンタリーには過去の資料の引用が重要であり、資料引用を理由に掲載を中断したことは表現の自由と著作権の侵害と主張した原告側に対し、被告側は原告の連載が「二重掲載」で、初出の内容を用いて原稿を書くという契約に違反していることを主張したが、ドキュメンタリーにおける過去の資料の引用と「二重掲載」の明確な違いを示されず、掲載拒否の根拠が不明確のまま終わった。同訴訟は、8度にわたる口頭弁論を経て証人尋問に入り、いよいよ大詰めを迎えた。(那覇支局・豊田剛)

## 不明確な掲載拒否の根拠

約4カ月後に連載は再開されたが、資料として貴重な渡嘉敷島旧指押官の赤松嘉次氏の手紙の内容を記述した最終回の1

81回目の原稿掲載も拒否された。このため、上原氏は「連載は、表現の自由と著作権侵害にあたる」として琉球新報社に対し訴訟を起し、17日証人尋問に立った。原告の上原氏は「パンドラの箱掲載拒否訴訟報告会」で裁判について解説する徳永一弁護士(右)、原告の上原正徳氏(中央)と証人尋問に立った星雅彦氏(左)も参加した。17日、沖縄県青年会館(那覇市)

過去の資料引用「二重掲載」と主張  
星氏は、原告側の上原氏から始まった。星氏によると、2007年8月頃、琉球新報から依頼されて書いた「集団自決に依る軍の命令はなかった」という内容の原稿が、担当記者によって大幅に縮小書き換えされた上、後になって「社の方針に合わない」として掲載拒否された。星氏は「社の方針」として何を指しているのかを問うた。上原氏は「過去の資料を引用し、二重掲載を理由に拒否した」と主張した。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。

## 「社の方針として拒否」浮き彫りに

兵隊の第77歩兵師団所属のクレン・シアレス伍長の手記(上原氏の翻訳)を「二重掲載」として拒否されたドキュメンタリーだ。枝川氏は「おおよそ、小説であるかドキュメンタリーであるかを問わず、過去に発表したものと同一内容を使用するが、百歩譲って同じ文章を使用する」と主張し、星氏は「琉球新報に依頼された」と主張した。

これに対して原告代理人の徳永一弁護士は反対尋問で、「ドキュメンタリーは事実と資料に基づいて人間の物語を書くこと」と定義を示した。枝川氏は「はい」と認めたものの、「パンドラ」については引用している部分の長さを、せめて他の文章と書き換えるべきだと反論した。

「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。

「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。

「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。星氏は「二重掲載」とは、同一人物が同一内容の原稿を複数回掲載することを指す。



### 往年の名選手たちが直接指導

金田正一(元巨人)、谷沢健一(元中日)、加藤秀治(元阪急)らプロ野球のOB24人が8日、宜野湾市立野球場で市内の少年野球チームを指導するなどして直接触れ合った。宜野湾市制施行50周年記念行事の一環として開催されたもので、少年野球チームのちびっこたちは、往年のプロ野球選手と一緒に記念撮影＝写真＝をして、思い出に残る一日を過ごした。

### サッカー観客1万人目指す

サッカーが今年3月24日、同競技場での強豪スカイフルFCと親善試合を行った。世界一のサッカー祭りが、観客約6千人と目標を下回った。このため、4日のFC琉球の試合にはチラシを持参すると4人まで無料観戦できるという主催側は、思い出に残る一日を過ごした。

### 夏のあやはひら

7月22日(日)、海の駅あやはひら(那覇市)で、那覇市、宜野湾市、宮城島、伊計島、比嘉島、津波島の新鮮な野菜や、地元の子供たちによる演奏「ミロバヤ」の大試演会が行われる。問い合わせ先は、那覇市健康推進課(電話)098(862)9016。

### 催し

健康な21進進市民大会(土)午後5時、那覇市市民会館(那覇市)で、生活習慣病にならないよう、健康に生活できるように、健康づくりを考え取り組んでいくイベント「真ん中」を開催する。問い合わせ先は、那覇市健康推進課(電話)098(921)2100。

### 情報プラザ

21進進市民大会  
7月22日(日)海の駅あやはひら(那覇市)で、那覇市、宜野湾市、宮城島、伊計島、比嘉島、津波島の新鮮な野菜や、地元の子供たちによる演奏「ミロバヤ」の大試演会が行われる。問い合わせ先は、那覇市健康推進課(電話)098(862)9016。

# ご宴会は 魚が旨い! 大庄で!

安全安心  
当社は、自社検査研究所において、野菜の残留農薬検査とトレーサビリティの徹底を行っています。

心づくしのおもてなしで真摯にお迎え致します

日本海庄や、やるき茶屋、あまの庄、鮮乃庄、中ノ濱、あまの庄、やるき茶屋、あまの庄、鮮乃庄、中ノ濱

ご宴会・ご相談ダイヤル  
0120-408-469 0120-408-959  
11:00~20:00 / 365日 お問い合わせ、ご要望も承ります。  
http://www.daisyo.co.jp/